

かんたん設定ガイド

壁埋め込み型ワイヤレスアクセスポイント



設定方法を動画で確認

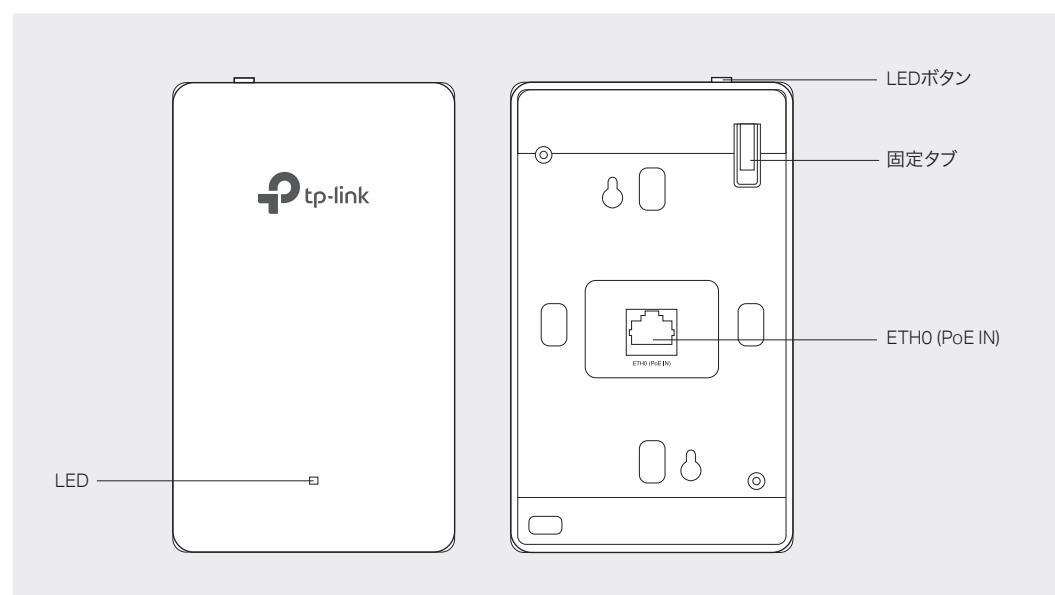
QRコードをスキャンするか、以下URLから設定する機種の種類を選択してください。
<https://www.tp-link.com/support/setup-video/>



注意：画像は実際の製品と異なる場合があります。

1 ハードウェアの概要

表&裏面パネル



LEDインジケータ

オン：正常に動作中/初期化中

オフ：異常発生/電源オフ/LED消灯

- 点滅：
- 初期化：初期化が完了するとLEDが2回点滅します。
 - アップグレード：アップグレード中、LEDは1秒ごとに点滅します。
 - リセット：リセット中、LEDは素早く点滅します。EAPが再起動します。
 - 位置特定：Omadaコントローラーで位置特定機能が有効になっている場合、LEDが素早く点滅しデバイスを認識します。LEDは10分間点滅しますが、手動で機能を無効にして止めることもできます。

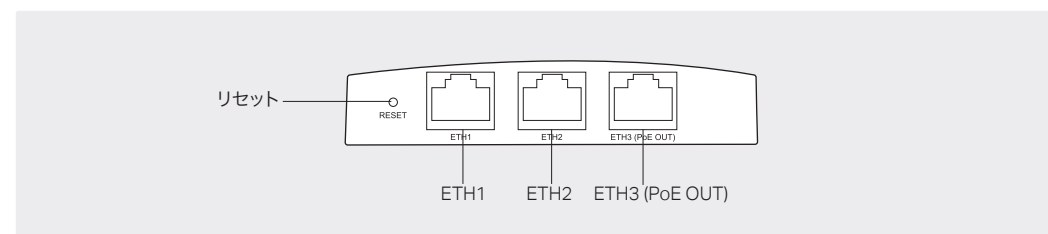
ETH0 (PoE IN) ポート

PoEスイッチ等のPSE(給電機器)と接続すると、データ伝送と電源の両方が可能です。デバイスは802.3af/at入力に対応しています。

LEDボタン

LEDボタンを押すとLEDのオン/オフが切り替わります。

底面



リセットボタン

デバイスの電源が入っている状態で、LEDが点滅するまでボタンを5秒ほど長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

ETH1 & ETH2 ポート

クライアントデバイスに接続しデータを送信します。

ETH3 (PoE OUT) ポート

クライアントデバイスに接続してデータを送信し、電力を供給します (PoE/パススルー)。PoE OUT機能には802.3at PoE+入力が必要となり、最大出力は13Wです。

注意：LAN内の802.3afデバイスへ電力を供給するには、802.3at PoE+入力を使用する必要があります。

2 設置前チェックリスト

取り付けをする前に、次のアイテムがそろっているかご確認ください：

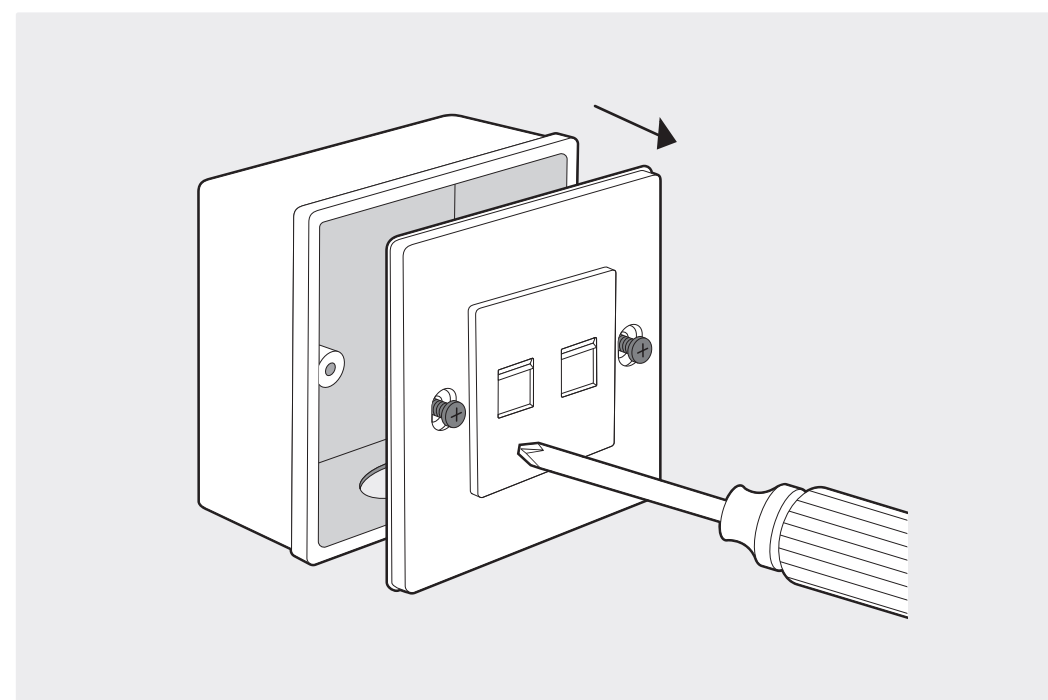
- 壁に設置済みの壁用ジャンクションボックス
- プラスドライバー
- RJ45プラグ
- PoEスイッチ

3 取り付け方法

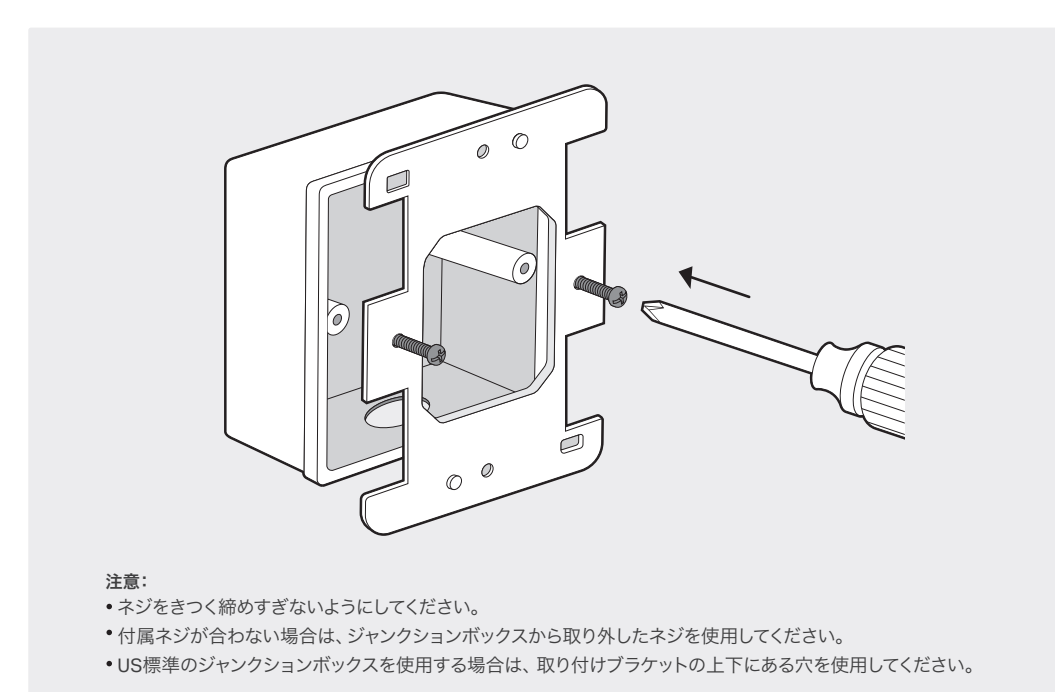
EAPは、86mmまたはEU/US標準の壁用ジャンクションボックスに取り付けることができます。ジャンクションボックスは事前に壁に取り付け、PoEスイッチに接続された壁内LANケーブルを通しておく必要があります。



1. プラスドライバーを使用して、ジャンクションボックス前面のプレートを取り外します。

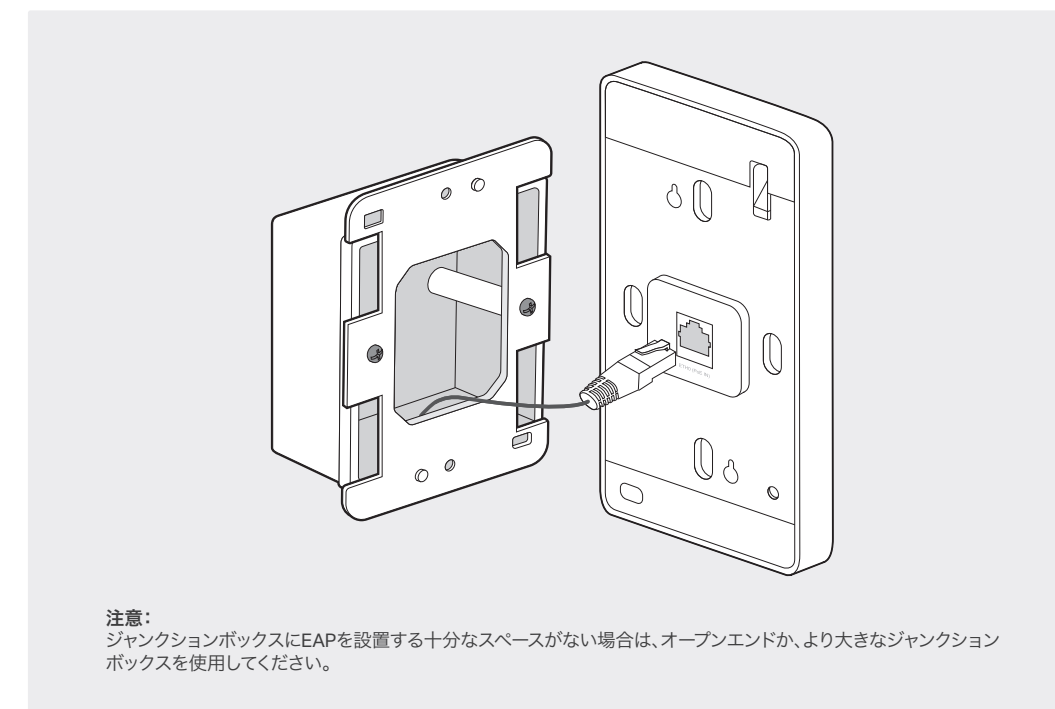


2. 取り付け用ブラケットを合わせ、付属ネジをプラスドライバーで締め固定します。



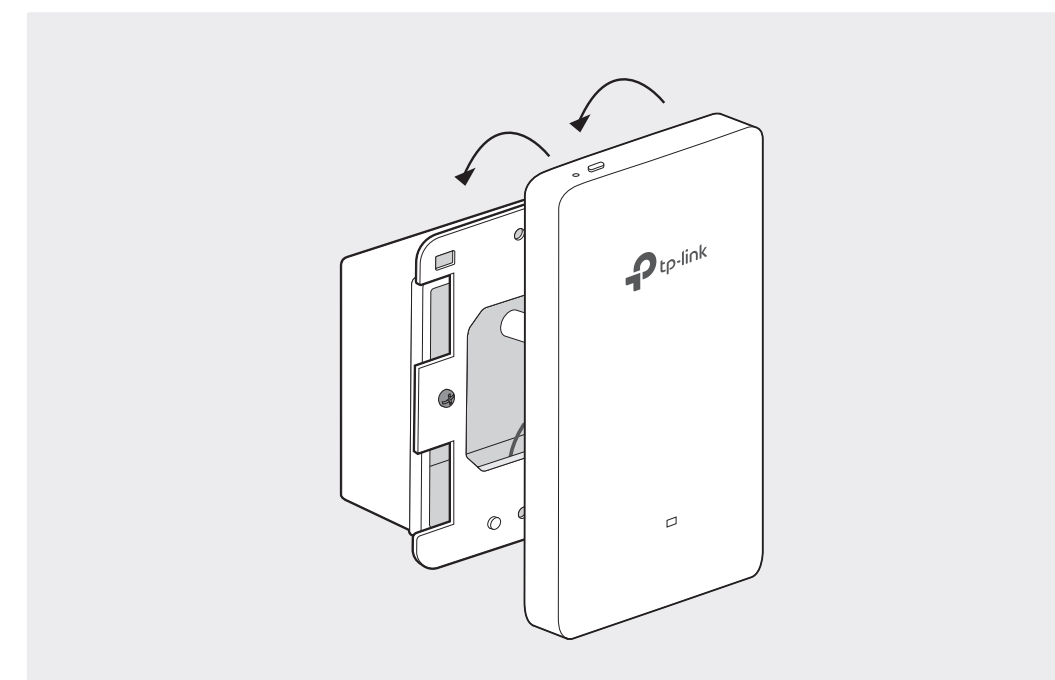
- 注意：
- ネジをきつく締めすぎないようにしてください。
 - 付属ネジが合わない場合は、ジャンクションボックスから取り外したネジを使用してください。
 - US標準のジャンクションボックスを使用する場合は、取り付けブラケットの上下にある穴を使用してください。

3. ジャンクションボックス内のLANケーブルをRJ45プラグに接続し、続いてETH0 (PoE IN) ポートに繋がります。この際にLANケーブルが引っ張られないようご注意ください。



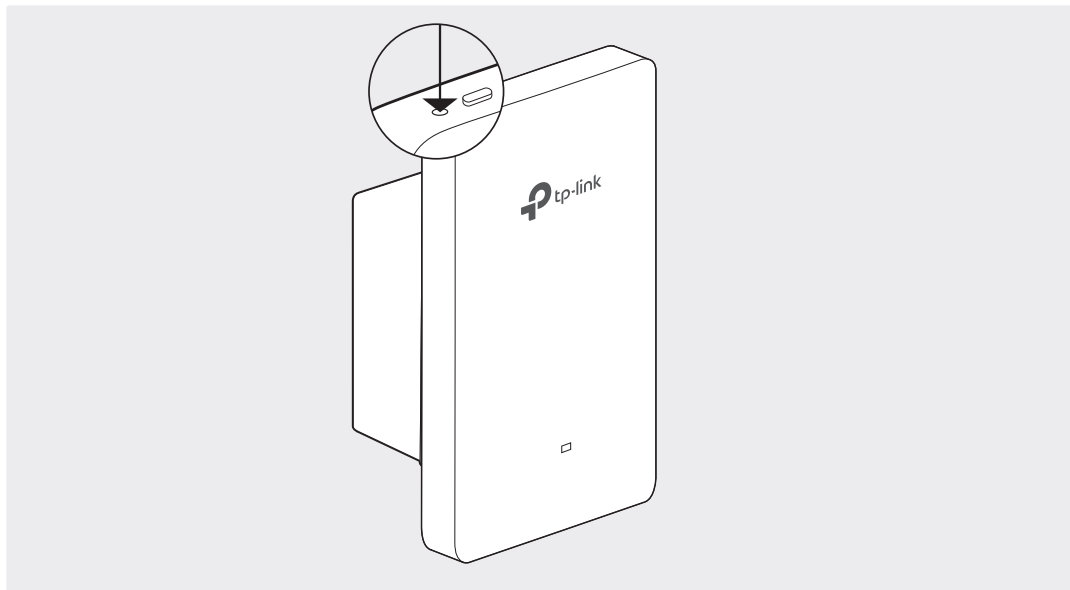
- 注意：
- ジャンクションボックスにEAPを設置する十分なスペースがない場合は、オープンエンドか、より大きなジャンクションボックスを使用してください。

4. EAPの上下2カ所にある穴を、取り付けブラケットの引っ張り部分に合わせ、ロックされるまで押しながらかいせさせます。



ヒント:

EAPを取り外す際は、LEDボタンの隣にある穴にペーパークリップ等を差し込んでロックを解除し、EAPを上スライドさせて取り付けブラケットから外します。



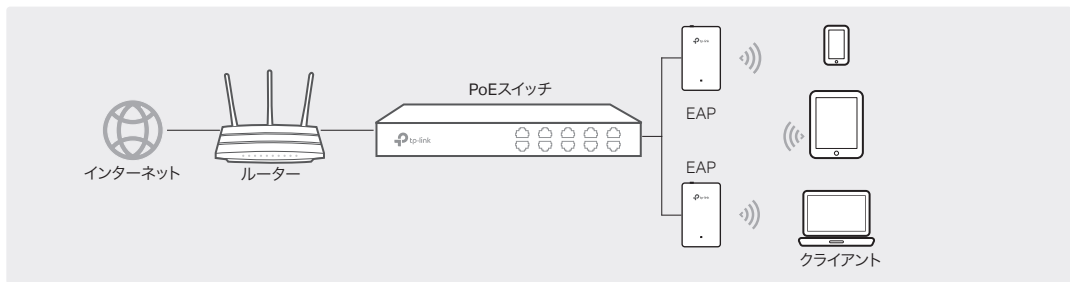
4 ソフトウェアの設定

ローカルネットワークのEAPとクライアントにIPアドレスを割り当てるには、DHCPサーバー（通常はDHCP機能が有効になっているルーター）が必要です。

このEAPでは2つの設定方法に対応しています:

- EAPを単独で構成および管理する場合は（複数のEAPを持つ小規模ネットワークに適しています）、「Standalone Mode」を推奨します。方法1を参照してください。
- EAPを一括で構成および管理する場合は、「Controller Mode」を推奨します。方法2を参照してください。

方法1: Standalone Mode



Omadaアプリ

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



- モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID (TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX) に接続させます。
- Omadaアプリを開き、EAPがStandalone APページに表示されるのを待ちます。表示されたら設定するEAPをタップしてください。

Omadaアプリからは一般的な設定のみを構成できます。詳細な設定をする場合は、EAPまたはコントローラーのWebページにログインのうえ実施してください。

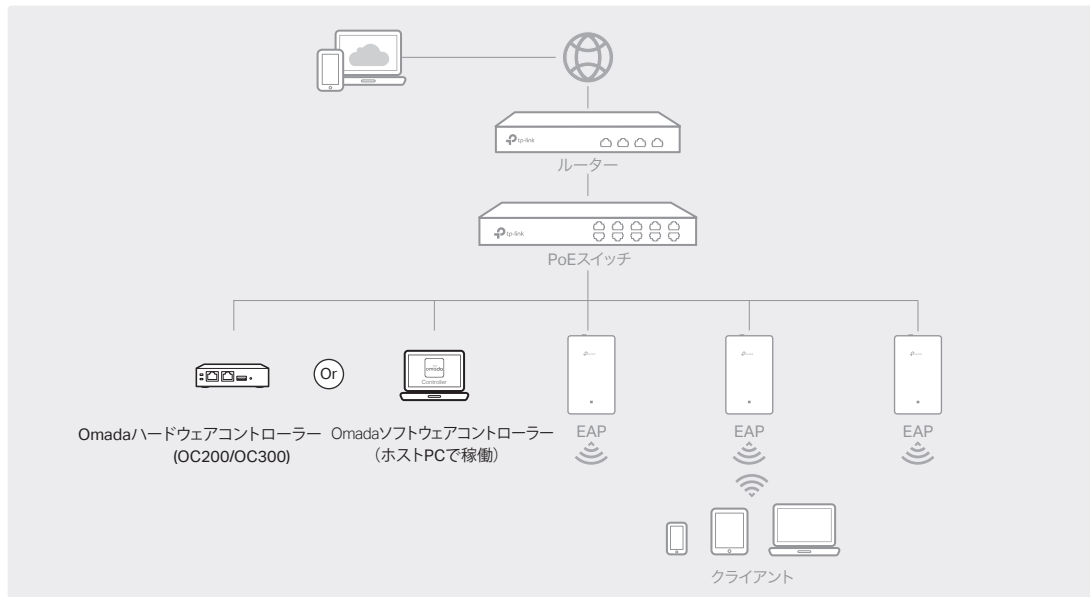
Webブラウザ

- モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID (TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX) に接続させます。
- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに<http://tplinkeap.net>と入力します。ユーザー名とパスワードの両方にadminを入力してログインします。
- 安全に管理するために、新しいユーザー名とパスワードを設定してください。続いてワイヤレスパラメーターを変更し、デバイスを新しいWi-Fiに再接続させます。

他のEAPを設定する場合も、デバイスを各EAPのデフォルトSSIDに接続し、上記の手順を繰り返します。Standalone Modeでは基本的な機能の設定が可能です。高度な機能を設定する場合は、Controller Modeを使用してください。

方法2: Controller Mode

Controller Modeは、大規模なEAPの設定に適用できます。全てのEAPは、OmadaソフトウェアコントローラーやOmadaハードウェアコントローラー (OC200 / OC300)、またはOmadaクラウドベースコントローラーから、一元で設定および監視が可能です。



Omadaソフトウェアコントローラー

- Windows OSまたはLinux OSを搭載したPCで、<https://www.tp-link.com/support/download/omada-software-controller/> からOmadaソフトウェアコントローラーのインストールファイルをダウンロードします。
- ファイルを実行し、ウィザードに従ってOmadaソフトウェアコントローラーをインストールします。
- Omadaソフトウェアコントローラーを起動させ、表示に沿ってクイックセットアップを完了させます。
- ウィザード完了後にログイン画面が表示されます。作成したユーザー名とパスワードを入力しLog inをクリックすると、コントローラーの詳細設定ができます。

* Omadaクラウドサービス

Omadaソフトウェアコントローラーをインストールした後、Omadaクラウドサービスを利用してコントローラーにリモートでアクセス・設定できるようになります。以下の手順に沿って進めてください。

- コントローラーの設定ページで**Cloud Access**を有効にし、TP-Link IDをコントローラーに紐付けます。セットアップウィザードで既に設定している場合は、この手順をスキップしてください。
- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに<https://omada.tplinkcloud.com>と入力します。
- TP-Link IDとパスワードを入力してログインすると、IDに紐付けされているコントローラーのリストが表示されます。**Launch**をクリックし、コントローラーの詳細設定ができます。

* Omada アプリ

Omadaアプリを使用すると、現地とリモートの両方でOmadaソフトウェアコントローラーを管理することもできます。Omadaアプリを使用する場合、Omadaソフトウェアコントローラーも稼働している必要がありますのでご注意ください。

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。

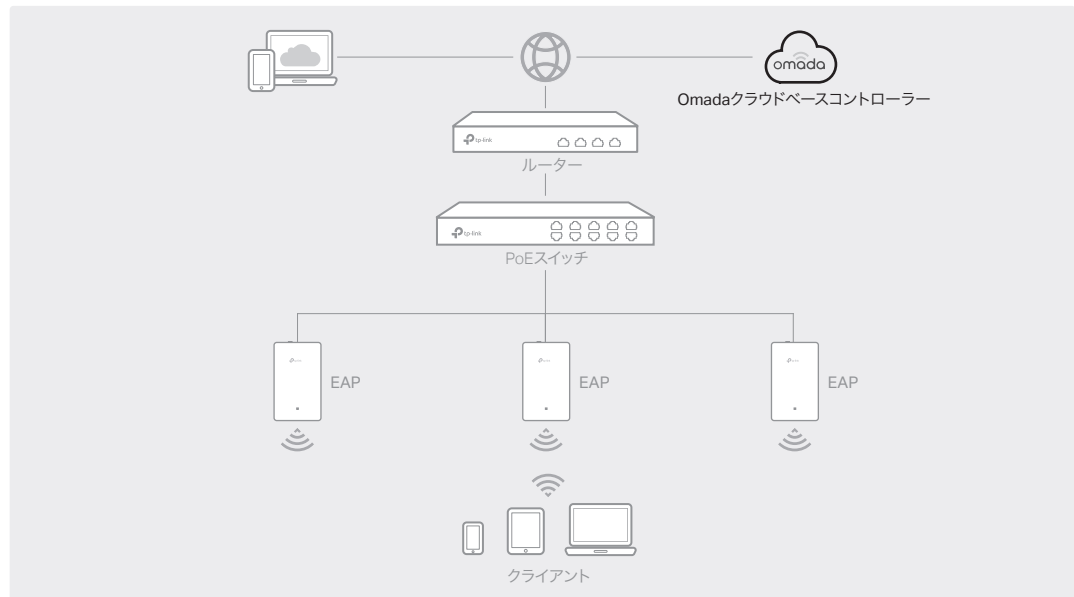


- Omadaアプリを起動させ、現地またはリモートからコントローラーを設定します。

- ローカル管理
 - モバイルデバイスを、EAP裏面のラベルに印刷されているデフォルトのSSID (TP-Link_2.4GHz/5GHz_XXXXXX) に接続させます。
 - Omadaアプリを起動させて**Local Access**に進み、右上の+ボタンをタップしてコントローラーを追加します。続いてコントローラーの詳細設定ができます。
- リモート管理
 - コントローラーで**Cloud Access**が有効になっていて、TP-Link IDに紐付けされているか確認してください。
 - Omadaアプリを起動させTP-Link IDでログインします。**Cloud Access**に進むとIDに紐付けされているコントローラーのリストが表示され、コントローラーの詳細設定ができます。

Omadaハードウェアコントローラー (OC200/OC300)

OmadaソフトウェアコントローラーがプリインストールされているOmadaハードウェアコントローラー (OC200 / OC300) は、ネットワーク上でOmadaソフトウェアコントローラーを稼働させるための予備PCがない場合に適した代替手段です。使用する場合は追加購入が必要となります。詳細については、OC200/OC300のインストールガイドを参照してください。



Omadaクラウドベースコントローラー

- Webブラウザを起動させ、アドレスバーに<https://omada.tplinkcloud.com>と入力します。続いてTP-Link IDとパスワードを入力してログインします。
- Add Controller**をクリックして、Omadaクラウドベースコントローラーを購入します。表示に沿ってプランを選択し支払いを完了させたら、コントローラーが展開されるまで待ちます。
- コントローラーがTP-Link IDに紐付けされると、リストに表示されます。**Launch**をクリックし、表示に沿ってクイックセットアップを完了させます。ウィザードが完了したら、作成したユーザー名とパスワードを使用してログインします。
- サイドバーから**Devices>Add Devices**の順にクリックします。製品下部にあるシリアル番号を使用して、デバイスをコントローラーへ手動で追加できます。

* Omada アプリ

Omadaクラウドベースコントローラーの管理もOmadaアプリから可能です。

- 以下からTP-Link Omadaアプリをモバイルデバイスにダウンロードします。



- Omadaアプリを起動させTP-Link IDでログインします。**Cloud Access**に進むとIDに紐付けされているコントローラーのリストが表示され、コントローラーの詳細設定ができます。

詳細な設定については、<https://www.tp-link.com/support/download/> からEAPおよびコントローラーのユーザーガイドをダウンロードのうえご確認ください。

安全にご使用いただくために

- 製品を火気・水・湿気・高温から遠ざけてください。
- 製品の分解・修理・改造等をしないでください。サービスが必要な場合は弊社までお問い合わせください。
- 無線機器の利用制限がある場所で、製品を使用しないでください。

TP-Link製品には、GNU General Public License (GPL) の対象となるソフトウェアコードを含む、サードパーティによって開発されたソフトウェアコードが一部含まれています。該当する場合、GPLの概要やTP-Link製品で使用されている各GPLコードへのアクセス取得に関する情報は、GPLコードセンター (<https://www.tp-link.com/en/support/gpl/>) より入手可能です。それぞれのプログラムは無保証で配布され、1人以上の作者の著作権の対象となります。詳細については、GPLコードおよびGPLのその他概要を参照してください。

テクニカルサポート等、その他の情報に関してはHPをご覧ください：
<https://www.tp-link.com/support>

